

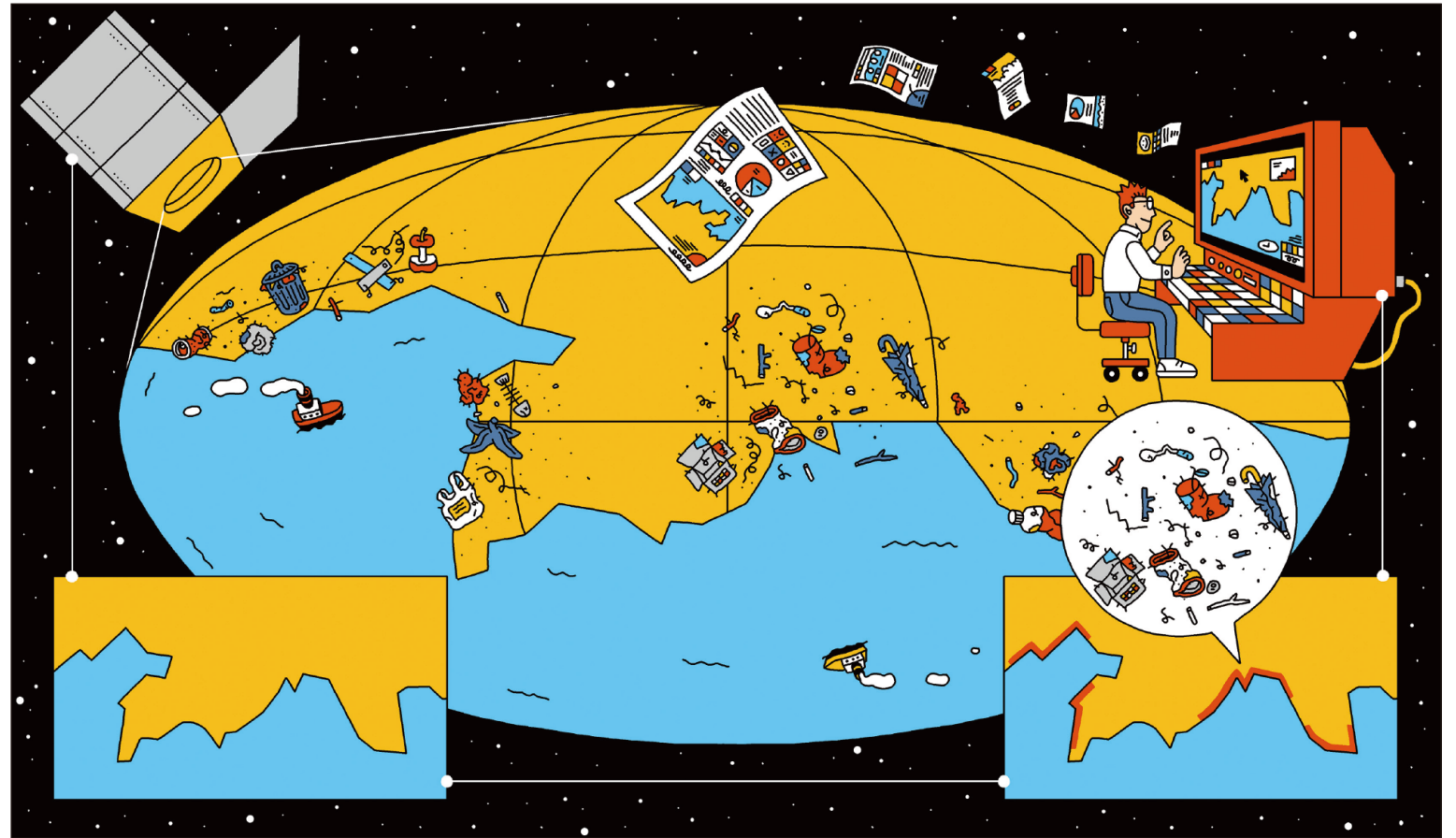
衛星画像による広域漂着ごみ可視化システム

TEAM

株式会社 天の技

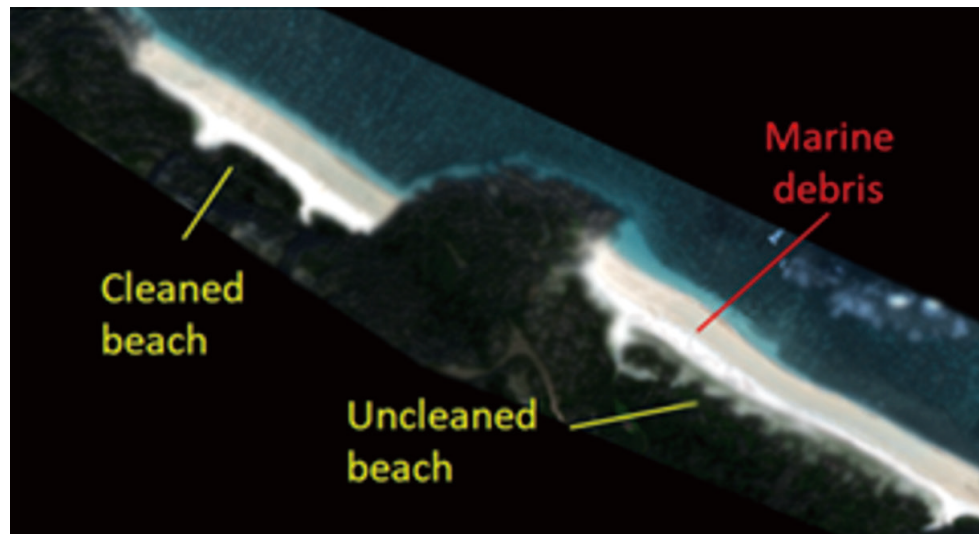
サービスのビジョン

海洋ごみの対策を行うためには、まずは海洋ゴミの実態を把握する必要があります。特に自治体レベルでの施策検討には、広域の調査が不可欠です。しかし、これを人海戦術で行うことは現実的ではありません。本サービスでは、人工衛星による撮影画像を活用することで、人海戦術に頼らない広域の漂着ごみ診断を実現します。遠隔から詳細かつ長期・自律的に海洋ゴミ情報を取得し、AIを活用した解析によって、100km単位での広域な海岸線の漂着ごみを可視化します。



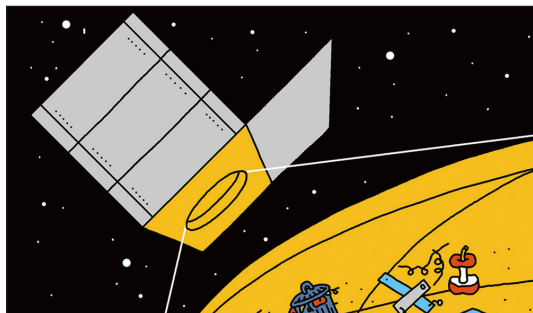
サービスの特徴

人工衛星の撮影画像を活用することで遠隔から長期・自律的に海洋ゴミ情報を取得し、AIを活用した解析によって100km単位での広域な海岸線の漂着ごみを可視化します。



ある海岸の衛星画像(左)をAIで解析することで海ごみの所在(水色部)を特定

サービスの概要



人工衛星による撮影画像

調査対象地域の衛星画像を収集します。使用する衛星画像は毎日～数日おきに更新されており、リアルタイムの状況把握が可能です。



AIによる画像解析

収集した画像を独自の機械学習によって構築したアルゴリズムで解析し、海岸線全体での「ごみ漂着エリア」を可視化します。



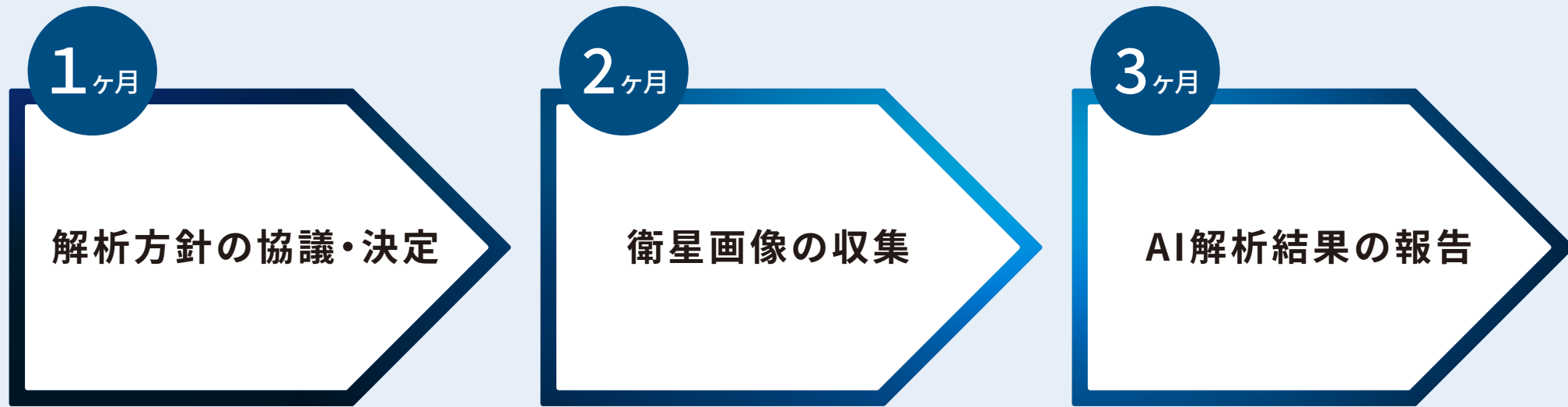
報告資料の作成

調査対象地域に設定した海岸漂着ごみの堆積場所や堆積状況を取りまとめた報告書を作成します。



必要に応じてドローンや踏査による海岸の直接調査を実施します。また、過去の衛星データ、気象関連データ、ごみ清掃履歴等の調査を組み合わせることも可能です。

プロセスとスケジュール



- ※ 協議開始から標準で3ヶ月程度。
- ※ 年間での継続的な調査も可能。

費用

標準プラン ▶ 450万円

調査対象は200kmまで / 衛星撮影1回実施

チーム紹介



株式会社 天の技

所在地：東京都大田区北馬込1-1-13

代表者：代表取締役 工藤 裕

WEB：<https://amanogi.space/>

事業内容

- 宇宙機器、造形装置、映像・音響機器等の精密機械器具に関する設計開発・試作販売
- データ解析・可視化技術の研究開発およびソフトウェアの開発と販売
- 教育事業等

本サービスに関するお問い合わせ

プロジェクト・イックク事務局 (リバネス内)

✉ ikkaku@lne.st

WEBサイトはこちら



<https://ikkaku.lne.st/>



プロジェクト・イッカクについて

プロジェクト・イッカクは、「海ごみ削減を実現するビジネス」を社会実装することを目的に、日本財団・JASTO・リバネスの3者によって2019年に発足しました。

本プロジェクトでは、新技術や従来にない発想をもつベンチャー企業をはじめ、学術機関・町工場・大企業・中小企業などの「超異分野チーム」が連携していくことで、革新的技術の開発や事業化を推進するプロセスを採用。日本財団による支援のもとで、2021年までの3年間で数々のサービスを開発してきました。

2022年4月からは単独のプロジェクトとして、引き続き参画チームと共に「海ごみ削減を実現するビジネス」の社会実装を推進していきます。

